

# 戦略的大学連携支援事業 ユニバーサルコミュニケーションのための 教養教育に向けた千葉圏域コンソーシアム

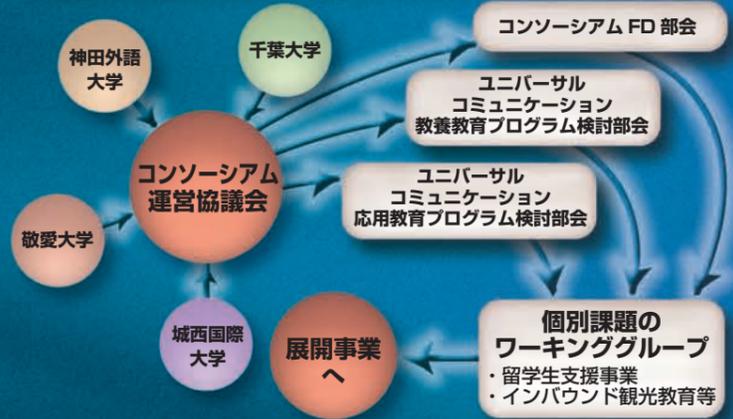


ごあいさつ

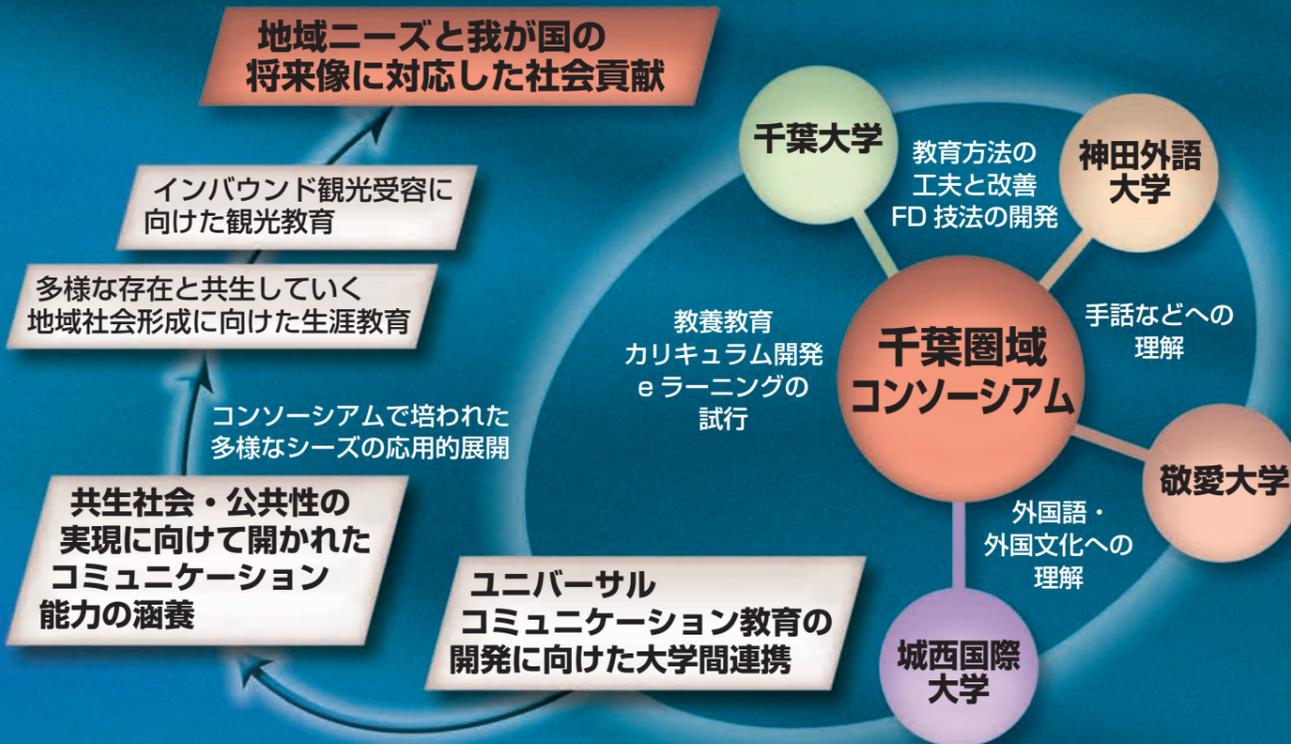
本プロジェクトは戦略的大学連携支援事業の総合的連携型（広域型）として申請し、採択されたものです。この事業自体が新規で、大学間の連携を推進するという今までにないもので、非常に興味を持っています。今回、本プロジェクトが採択されたことは、千葉県の特色のある大学が連携することにより、新たな可能性を生み出すことを期待されたものと理解しています。千葉県はいろいろな面で多くの可能性を持った県です。その地で、我々4大学が協力して教育の質の向上を図っていきたくと考えています。支援期間中はもちろんのこと、その後も充実した教育を提供していき、教育システムの構築や教材開発などを積極的に進めていく予定です。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

千葉大学理事・副学長・普遍教育センター長 北村彰英

## コンソーシアム実施体制



## ユニバーサルコミュニケーションのための教育に向けた千葉圏域コンソーシアム



## 事業期間中の年次計画

【平成20年度】

### コンソーシアムの起動

●千葉圏域コンソーシアムを立ち上げ、その中核として、各大学から選出された計10名程度の責任者を構成メンバーとする千葉圏域コンソーシアム運営協議会を組織する。さらに、運営協議会のもとに、個別の課題に対応した部会を設け、中長期的な将来計画を策定する。また、コンソーシアムの目的と活動方針を周知するために、コンソーシアム紹介のためのパンフレット、ならびにHPを立ち上げる。

●将来の教養教育カリキュラム共有化の前提として、まずコンソーシアム参加4大学間における単位互換協定を実施する。

●立ち上げの初期段階にはことに強力な事務局機能と緊密な連携が求められるため、支援期間を通して各大学では、カリキュラム開発と試行、連携業務に専念する専任教員を配置し、運営協議会委員を補佐する体制を整える。

●e-learningの導入に向けてメディア教育開発センターと連携しつつ予備的検討を開始するとともに、ICTの基盤整備を実施する。

【平成21年度】

### ユニバーサルコミュニケーション教養教育に関するカリキュラムの研究・開発

●ユニバーサルコミュニケーションの発想を基礎に据えたカリキュラム、コンテンツを開発する。とくに1)手話教育の試行、2)国際文化理解のための教育コンテンツ、授業方法の検討を主要な課題に据えるとともに、実効ある教養教育実施のためのFDについてWGにて集中的な検討を行う。

●e-learningを試験的に一部導入するとともに、ICTを利用したFDの方法についても検討を開始する。

【平成22年度】

### ユニバーサルコミュニケーション教養教育に関する統一カリキュラムの試行

●開発されたカリキュラムを、条件の整った複数大学にて共通科目として試験的に導入するとともに、大学横断的にコンソーシアムとして教養教育のためのFDを実施する。

●ユニバーサルコミュニケーションの発想から派生する多様なシーズを生涯教育・社会人教育等に向けて展開するための方策を検討し、中長期計画として公表する。

## 事業の目的

本補助事業の全体の目的は、高等教育機関における教養教育の質的充実につき、これを「ユニバーサルコミュニケーション」の観点からの改善を図り、本学の教育目的である、普遍的な教養を備え、社会に貢献する人材養成に資するため、千葉圏域4大学の連携に基づき、1)ユニバーサルコミュニケーションの実践に向けた教養教育のカリキュラムを開発すること、ならびに、2)その過程で見出されたシーズを育み、FD活動・生涯教育・留学生支援等に展開していくための道筋をつけることにあります。

また、本事業の取組の中で開発されたカリキュラムは、平成22年度から正規の授業科目として実施し、コンソーシアム全体において共有化することによって取組の充実・発展を図り、その成果を地域社会に向けて波及せしめ、本学とコンソーシアムの教育目的である、地域と連携し、社会に貢献する人材養成機能の強化を図ることが、本補助事業の目的です。

## 取組概要

平成20年度戦略的大学連携支援事業で選定された「ユニバーサルコミュニケーションのための教養教育に向けた千葉圏域コンソーシアム」は、千葉圏域4大学の結集に基づいて「千葉圏域コンソーシアム」を構築し、言語・文化・価値観・身体的能力などの違いを越えるバリアのない「ユニバーサルコミュニケーション」実現に向けて、FD実践に裏付けられた体系的な教養教育のカリキュラムを開発する取組です。国際化のいっそうの進展とバリアフリー社会の深化が目指されている現代社会においては、世界の言語・文化についての幅広い知識を持ち、性差や身体的能力にとらわれない開かれたコミュニケーション能力を備えた21世紀的な地球市民を養成することが喫緊の課題となっています。この取組は、地域における大学間連携が、新時代にうさわしい教養教育を実現し、さらに生涯教育へと応用的に展開しつつ、地域の公共性実現に貢献するモデルケースとなることを期しています。

## 千葉大学普遍教育センター

普遍教育とは、教養教育とリテラシー教育の両者を包含した千葉大学固有の名称であり、社会の一員として具備すべき一般的素養・知見と総合的判断力を養うことを目的としています。千葉大学では、普遍教育を「各学部・学科の固有な教育と連携させつつ、全学協力のもとに、幅広く深い教養を通して、問題解決能力を培い、創造的な知の営みを通して豊かな人格を養い、総合的な判断力を身につけたよき社会人を育成することに寄与する」教育と位置づけています。

普遍教育センターは、普遍教育の企画、運営及び評価システムを開発し、実施しているほか、全学部共通の教育を提供するための基盤形成に係る諸事項を総合的に調査・研究し、千葉大学における教育の質的向上に寄与するための活動を行っています。

本学では、「時代にふさわしい高い専門性と総合的判断力を持ち、国際化・情報化の進んだ人類社会の一員として創造的に行動する能力をもった人材を養成する」という教育目標を掲げ、「4年（6年）一貫教育の基本方針に基づき全学教員の協力的体制のもとで普遍教育と専門教育を緊密に連携させ総合大学としての特色を最大限に活用して」教育カリキュラムを編成しています。

千葉大学: <http://www.chiba-u.ac.jp/>  
普遍教育センター: <http://fkc.chiba-u.jp/>  
千葉大学普遍教育: <http://www.fuhen-chiba-u.jp/pub/index.html>

## 神田外語大学

神田外語大学は1987年に創立された外国語学部のみ単科大学です。高層ビルが立ちならぶ幕張新都心のすぐ近くに位置しています。建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」。外国語の実践的な運用能力をはくみながら、言葉の背景にある文化への理解と関心を育て、異文化間の相互理解と世界の平和に貢献しようとするものです。

「環太平洋」をキーワードとして、英米語学科、国際コミュニケーション学科、中国語学科、スペイン語学科、韓国語学科、国際言語文化学科（インドネシア語、ベトナム語、タイ語、ブラジル・ポルトガル語専攻）の6つの学科と、世界中からやってくる留学生のための留学生別科が設置されています。

国際語としての英語教育は全学科において重視されています。少人数のクラス編成、語学教育の専門資格をもつ多数のネイティブ教員、プレゼンやディベートを重視する双方向・参加型の授業、グループワークの多さなど、実践的なコミュニケーション能力を重点的に育成する授業方式を特色としています。

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>

## 敬愛大学

敬愛大学は、「敬愛愛人」の建学の精神に則り、経済学部では「人間性と創造性豊かな経済人」、国際学部では「グローバルな視野と豊かな人間性を持つ人材」の育成を図ってきました。具体的には、(1)建学の精神を具現化する人格教育（現代的課題を「敬愛愛人」の精神に基づいて専門家が講義する「敬愛愛人講座」を本年度から開始）、(2)一般教育科目・語学科目からなる教養教育、(3)経済学・国際学関連専門教育の3つの教育を徹底し、人間性豊かで何事にも積極的に取り組む覇気のある人材の育成を目指しています。

本学の特色は、(1)ゼミを必修化し、ゼミでのアットホームな雰囲気を通して小規模大学・少人数教育のメリットを最大限生かすこと、(2)「教育の敬愛」の実績を基に教職課程を置き、両学部全体では、「英語」「社会」「地理歴史」「公民」「商業」「情報」の中高教員免許の他「小学校教員免許」を取得できること、(3)情報処理教育にも力を入れ、さまざまなIT関連の資格が取得できること、(4)国際学部では、海外スクーリング、ボランティア、海外留学などを通して、体験による国際的センスの涵養を図っていることにあります。また、両学部ともキャリア教育・就職支援を充実させ、就職率の高位維持、就職先の質的向上にも努力しています。

<http://www.u-keiai.ac.jp/>

## 城西国際大学

城西国際大学は、「学ぶことを通じての人間形成」、「国際社会に生きる人間としての自己形成」を建学の精神として1992年に千葉県東金市に開学し、2007年に現在の6学部7学科の体制となり、東京ベイエリアに多くの教育拠点を設ける国際大学、総合大学として、多角的な人材育成に取り組んでいます。

本学の教育特色としてまずあげられるのは、学部・学科横断的な「人材育成教育の3本の柱」です。国内外のさまざまな社会の現場や教育機関でインターンシップや研修を経験する「フィールド教育」、従来のカリキュラムでは取り組みにくいユニークな課題やテーマを設定し、学生と教員が一体となって学内外において企画し実践する「プロジェクト教育」、社会で役立つ各種資格取得に対応した科目や資格取得講座を多数開設し、将来の職業につなげていくための「資格取得教育」の3つからなり、学生が社会で夢を実現できるよう一人ひとりのキャリア形成教育を推進しています。

また、リベラルアーツ&サイエンス(LAS)センターが中心となって全学的に取り組む、社会人として必要な基礎力の育成プログラム、大手企業の寄附で運営する未来講座：21世紀人材育成 Program など、建学の理念に基づく多彩な人材育成のためのプログラムを運営しています。

<http://www.jiu.ac.jp/>